

「体操 天皇杯」第76回全日本体操個人総合選手権  
 「第76回全日本体操種目別選手権男子トライアウト」  
 「第51回世界体操競技選手権大会」日本代表第2次選考会  
 「第19回アジア競技大会」日本代表第2次選考会  
 「FISUワールドユニバーシティゲームズ」日本代表選考会

大会要項

主催：（公財）日本体操協会  
 主管：東京都体操協会 後援：（一財）上月財団  
 協賛：テーブルマーク・日本航空・三菱地所・ミズノ・セイコーホールディングス  
 シミズオクト・セノー・東武トップツアーズ

1 期 日 2022年4月20日（火）～24日（日）  
 4月20日（水）会場設営・女子会場練習  
 4月20日（水）会場設営・会場練習・女子監督会議  
 4月21日（木）女子審判会議、予選競技・男子会場練習、監督会議  
 4月22日（金）男子審判会議、種目別トライアウト、予選競技・女子決勝練習  
 4月23日（土）女子決勝競技・男子決勝練習 ※テレビ放映 NHK【BS1】14:30～14:55  
 【総合】14:55～（17:00）  
 4月24日（日）男子決勝競技 ※テレビ放映 NHK【BS1】11:50～13:05  
 【総合】13:05～（15:00）

2 会 場 東京体育館  
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目17-1 Tel03-6380-4832

3 参加資格と条件 ※2022年度本協会への選手登録を済ませた者として。

個人総合男子

90名

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。
- ② 別表1に該当する者として。

別表1

①	第54回全日本シニア体操競技選手権大会上位24名。	24名
②	第75回全日本学生体操競技選手権大会上位24名。	24名
③	男子ジュニア強化部推薦8名。	8名
④	協会推薦6名。	6名
⑤	第76回全日本個人総合トライアウト10名。	10名
⑥	FISUワールドユニバーシティゲームズ枠18名。	18名

※①、②に棄権者が出た場合は第76回全日本個人総合トライアウト次点選手から繰り上げる。

男子種目別トライアウト（強化本部と審判部が選考を行い、各種目最大18名の出場を認める）。

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。
- ② 別表2に該当する者として。

別表2

①	東京2020五輪及び第50回世界選手権種目別メダリスト。（当該種目）	
②	1種審判員2名の推薦を受け、予定演技構成及び演技動画を申し込み用紙に添えて提出すること。	

女子個人総合

84名

- ① 年齢制限は13歳以上（2022年12月31日までに達する者）。
- ② 別表3に該当する者として。

別表3

①	2021年度開催の連盟大会※1における個人総合得点を並べて上位54名。※2	54名
②	協会推薦6名。（対象者が人数に満たない場合は、①へ繰り下げる。）※2	6名
③	第76回全日本体操個人総合選手権トライアウト上位12名。※2	12名
④	FISUワールドユニバーシティゲームズ枠12名。	12名

※1 連盟大会とは、全日本ジュニア体操競技選手権、全日本学生体操競技選手権、全日本シニア体操競技選手権の3大会を意味する。

※2 ①、②の出場辞退者の補充について、第76回全日本個人総合トライアウトの映像申請開始後から第76回全日本個人総合選手権の参加申し込み締め切り期日までに辞退者が出た場合は、③の次点者から繰り上げる。また、③の出場辞退者の補充についても同様とする。ただし、当該大会の参加申し込み終了後に出場辞退者が出た場合は、補充はせずに棄権とする。

#### ※注意事項

- (1) 18歳未満（大会時）の参加者は、「ドーピング・コントロールに関する同意書」を作成し、大会中携帯してください。
- (2) 学生（大学生・高校生以下）の参加者は、出場資格を得た大会に関わらず、所属名を学校名またはクラブ名のどちらかを選択できます。その際、今年度の選手登録を済ませて下さい。
  - ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
  - ② 登録時に双方の連盟に登録しておいて下さい。（本協会への登録窓口となっている、各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。）
- (3) (2)における所属の双方を表記することが可能です。また、学生以外の参加者は、所属・スポンサー契約等の条件をもとに本協会と参加者合議の上所属の表記を申告できます。
  - ① プログラムに双方の所属を掲載します。
  - ② 文字数に制限のある場合（競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等）に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
  - ③ ②における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。例：〇〇〇〇クラブ/〇〇高校
  - ④ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。
- (4) 本大会の出場選手で第19回アジア競技大会・FISUワールドユニバーシティゲームズ00出場有資格者は、（公財）日本オリンピック委員会の定めるところにより、「日本代表候補選手」として所定の手続きを完了する必要があります。派遣事務手続き要領に基づく事前資料の提出をお願いいたします。なお、この手続きを行わなかった場合、日本代表選手の権利を放棄したものとさせていただきます。

#### 4 競技に関する注意事項

- (1) 採点規則  
男子は2022年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。  
女子は2022年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。

#### (2) 競技規則（2022年版FIG競技規則に準ずる）

##### 1) 班編成について

（男子・女子予選）

【男子】1組6名の12組、2班編成とします。

- ・ II班 ①2021年度ナショナル強化選手(個人総合選出)②ジュニアナショナル強化部推薦4名③左記①、②を含む成績順から選出された36名

- ・ I班 II班に編成された選手以外の合計36名で開始種目を抽選。

※各班各組の開始種目は次の通りです。

- ・ 1組ゆか 2組あん馬 3組つり輪 4組跳馬 5組平行棒 6組鉄棒

【女子】1組6名で14組、3班編成とします。

- ・ III班 ①の上位選手に②で選出された選手を加えて、計24名で開始種目を抽選。

- ・ II班 ①のIII班に編成された選手の次点者以下、30名で開始種目を抽選。

- ・ I班 ①のII、III班に編成された選手以外と、③で選出された選手12名、④の選手12名で開始種目を抽選。

※各班各組の開始種目は次の通りです。

- ・ 1組跳馬 2組段違い平行棒 3組平均台 4組ゆか 5組休み

（男子種目別トライアウト）1組6名の編成とします。

- ① FISUワールドユニバーシティゲームズ枠18名を、ゆか あん馬 つり輪の3種目に抽選します。

- ② トライアウト出場者の開始種目は①のローテーション空き種目に抽選します。

- ③ 複数種目に出場する選手が、順次競技を行うことができるように演技順を抽選します。

（決勝）

- ① 男子は個人総合予選上位30名+左記通過選手を除く各種目上位6名とし、成績順により組編成します。東京2020五輪及び第50回世界選手権の種目別メダリスト(当該種目)はシード。

- ② 女子は個人総合予選上位24名（ユニバーシティ枠選手を含む）とし成績順に組み編成します。

- ③ 演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。

- ④ 男子種目別上位者各種目6名を6組として編成します。演技順は種目別トライアウト順位の低い選手から編成します。

- ⑤ リザーブは「男子2名」、「女子2名」とし公式練習終了まで準備をお願いします。

- 2) 棄権および選手変更の取扱について
  - ① 棄権の場合は、別途様式にてコンペティションマネージャーまで提出をお願いします。
  - ② 監督会議以前に棄権の申し出があった場合、演技順を監督会議で確認し、各組の中で演技順の調整を行う場合もあります。
  - ③ ユニバ枠の選手はエントリーは正選手1名、補欠選手2名となり、交代は監督会議までとなります。
- 3) 競技の進行について
  - ① 男女ともに原則として1種目25分のローテーションで競技進行します。ご協力をお願いします。
  - ② 決勝はNHKのテレビ生中継のために、演技者と演技者の間（得点表示）の時間を長くとするなどの進行に調整が入るので、ご協力をお願いします。
  - ③ 女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内にBGMを流す予定です。
- 4) 器械器具について
  - ① 本大会はセノー社製（2019製品カタログ版）を使用します。
  - ② 本大会では、演技台（ポディウム）は設置しません。
  - ③ 男女ともサブ会場を設営します。
- 5) 跳躍板について
  - ① 「跳馬」はハードタイプ（3-3-2）・ソフトタイプ（3-1-2）を使用します。  
(注)バネの取り外しはできません
  - ② 「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。
- 6) 女子ゆかの音楽について
 

伴奏曲はデータでの提出とします。提出方法は別途連絡します。データのエラーに備え、各自CDを準備し携行してください。1枚につき1曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備下さい。
- 7) 跳馬の注意事項
  - ① 男子の全日本種目別通過希望者は2回の超越とします。（1回目を個人総合の得点とします）決勝は種目別枠も含め1超越とします。
  - ② 女子1回の超越とします。

5 「第76回全日本体操個人総合選手権」の順位決定方法  
男子・女子「第76回全日本体操個人総合選手権」の予選・決勝の合計得点とします。

6 「第61回NHK杯体操」・「第76回全日本体操種目別選手権」への出場資格について

「第61回NHK杯体操」

男子

①	「第76回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位30名。
②	上記①を除く全日本個人予選と種目別トライアウトの各種目上位6名。東京2020五輪及び第50回世界選手権の種目別メダリスト(当該種目)はシード。

女子

①	「第76回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位24名。（ユニバーシティ枠選手が24名に含まれた場合、NHK杯には出場できないため、欠員となる）
---	--

「第76回全日本体操種目別選手権」

男子予選	
①	東京2020五輪及び第50回世界選手権種目別日本代表選手。(当該種目)
②	第75回全日本種目別選手権優勝者。(当該種目)(日本国籍を有する選手)
③	全日本個人予選及びトライアウト成績各種目上位24名。(①②を含み合計24名)
④	N杯上位10名のうち、全日本種目別予選に通過していない選手は希望する種目の演技を行うことができる。(決勝進出資格なし)
男子決勝	
①	東京2020五輪及び第50回世界選手権種目別メダリスト。(当該種目)
②	全日本種目別予選上位8名。(①を含み上位8名)

女子予選①②で最大24名	
①	「第76回全日本個人総合」予選・決勝・NHK杯における各種目の上位8位。(人数未定)
②	演技動画提出による推薦。(①を含めて合計24名となるように上位者より選出する。)

※ 細部は別途HPにおいて案内いたします

7

表彰

- ① 本大会は上記5における順位決定方法により表彰します。
- ② 男子個人総合優勝者に対して「天皇杯」を授与します。
- ③ 男女個人総合優勝者に「JOC杯」及び「優勝杯」を授与します。
- ④ 1～3位にはメダルと賞状、4～8位には賞状を授与します。
- ⑤ 同点は同順位として表彰します。

8

日本代表について

男女とも強化本部から示された日本代表決定方法をご確認ください。

9

運営に関する事項について

- ① AD (Accreditation) カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみADカードは発行されます。申込時に役職氏名を明記してください。会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

※各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

役 職	配布枚数
部 長：男女の選手が出場のチームでも1名分とします。会場練習時は競技エリアに入ることができます。競技中は選手団席での観戦となります。	1
監 督：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。会場練習時は競技エリアに入ることができます。競技中は競技中は選手団席での観戦となります。	1
選 手：出場者数。	
コーチ：出場選手数分。	
トレーナー：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。競技中は選手団席で待機してください。治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。	1

- ② 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。

※大会参加者は健康保険証を持参してください。

- ③ ドーピング検査について

本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満(大会時)である場合は、本大会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご注意ください。

血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご注意ください。

日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト <http://www.realchampion.jp/process/tue>で確認して下さい。

本大会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携行して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

④ 炭酸マグネシウムについて

各所属で持参した炭酸マグネシウムを使用して下さい。

⑤ 演技写真撮影およびSNSによる広報活動について

本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申告し「撮影許可証」を取得して下さい。「撮影許可証」は1所属（男女別）につき3枚を上限として発行します。撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影して下さい。

競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア（公式HP、Twitter、Facebook、Instagram）に掲載致します。ご協力をお願いいたします。また、大会期間中、広報委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

⑥ 「ネット・動画を活用したスポーツ団体の収益化プラン策定に向けてのトライアル」を実施する予定です。中継放送局およびその他の権利関係について調整を行います。

⑦ 所属の車両乗り入れについて

本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。

10 参加申し込み

期 日 2022年4月1日（金）～4月6日（水）

申込方法 大会申込は<http://jga-web.jp/>にて行います。なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

参加料 1選手につき10,000円（男子種目別トライアウト申告ならびに女子個人総合トライアウトからの出場者は8,000円とします）

※JASRAC（日本音楽著作権協会）負担金 女子選手のみ1名につき500円

連絡先 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階  
（公財）日本体操協会 TEL 03-6455-4037 FAX 03-6455-4038  
「第76回全日本体操個人総合選手権 参加申込」係

11 その他

① 班編成の抽選について

日時；2022年2月27日（日）9：00 リモート会議開催。

男子・女子強化本部および事業委員会で行います。

② 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

③ 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。